

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や
楽しい話題、イベントなどの身近な
情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ 広報情報係
(☎223-3569)



津軽三味線とマンドリンの美しい音色にうっとり

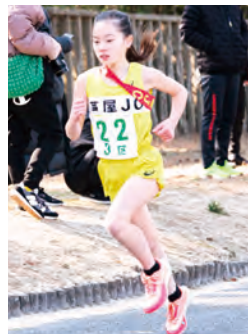
2月25日 ふれあい文化講演

町民会館でふれあい文化講演「津軽三味線とマンドリン」が行われました。マンドリンアンサンブル「Ofa」の皆さんが「あずさ2号」や「古賀メロディー」など昭和歌謡曲を、津軽三味線奏者の鈴木利枝さん、琴奏者の齋藤 雅さん、津軽三味線グループ「和心」は津軽じょんから節、ソーラン節など華麗な演奏を披露し、会場も手拍子などで盛り上がりました。会場からは「津軽三味線もマンドリンも初めて聞いたけどいい演奏だった」と笑顔で話している声が聞こえていました。

練習の成果を竹刀にこめて

1月29日 第1回芦屋町長旗・第16回遠賀郡中間市
剣道連盟会長杯争奪少年剣道大会

芦屋町総合体育館で剣道大会が行われました。芦屋町長旗争奪の記念すべき第1回の大会で、参加者は試合開始の合図とともに気合の入った掛け声で、熱い試合を繰り広げていました。個人戦、団体戦の結果は10ページのみんなのひろばに掲載しています。



晴天の海浜公園でタスキをつないで

2月5日 遠賀郡駅伝競走大会

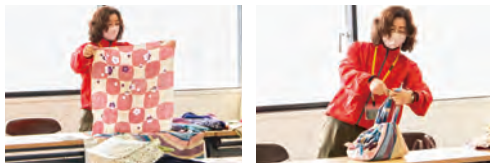
3年ぶりに遠賀郡駅伝競争大会が開かれ、小中学生から大人までが芦屋海浜公園を駆け抜けました。小学生男子の部、小中学生女子の部では、ともに芦屋ジョギングクラブAチームが優勝、女子の部では5つの区間の区間賞を獲得するなどの活躍が見られました。



障がいの有無に関わらず一人一人に合った教育を

2月8日 芦屋町特別支援教育講演会

町民会館で特別支援教育講演会が行われ、教育や保育の関係者、保護者や地域の人など94人が参加しました。講演では「障がいの有無に関わらず、一人一人に合った教育が受けられる環境が大切」「自己肯定感を育むような声掛けや関わりが大切」などの話がありました。参加者からの「チャレンジして失敗してしまうと自己肯定感が損なわれそうだが、明らかにハードルの高いことにもチャレンジさせるべきか」という現実的な問いには「意思を尊重してチャレンジはさせてほしい。ただし、失敗したときには、一緒にその原因を考え、本人が納得することが大切」という話がありました。



環境にも優しく、おしゃれにつかえるふろしき

2月11日 中央公民館講座「ふろしき使ってSDGs」

江戸時代から庶民に広く使われるようになったといわれるふろしきは、簡単にマイバッグになり、私たちのできるSDGsの一つです。講座では、講師の金谷 心さんから「真結びと一つ結びを覚えれば、ほとんどのふろしきの包み方ができる」と結び方を教わった後、ワインボトルの包み方やティッシュ箱、土産の箱の包み方、ふろしきをバッグにする方法を学んでいました。参加者からは「これなら普段使いしやすいし便利。日常でも使いたい」と声が聞こえました。

未来の自分を思い描いて

2月18日 十歳のつどい

3小学校で「十歳のつどい」が行われ、4年生が参加しました。芦屋東小学校では、家族が見守る中、作文発表や合唱が行われました。児童は「航空自衛隊員になりたい。お父さんと一緒に働こう!」「きらいなきのこもいっぱい食べてポートルーサーになるぞ!」「赤ちゃんをお風呂に入れるお母さんに憧れました。助産師になりたいです」「味覚の鋭さを生かして料理人になりたい。絶対料理人になっておいしい料理を作るぞー!」といったすてきな将来の夢を書いた作文をみんなの前で発表していました。



今年も芸術家のたまごの作品がたくさん

2月11日～26日 ギャラリーあしや特別展

「芸術家のたまご展」がギャラリーあしやで行われ、町内・近隣の小学校児童や芦屋中学校生徒、北筑豊地区中学校文化連盟美術展の作品が展示されました。見学に来ていた芦屋中学校美術部の野口華恋さんと片岡 詩さんは「自分たちがやったことのない作品や造形を見ることができてよかった」「大きい作品を作ったことがないので美術部で作ってみたい」と今後の抱負を話していました。